



平成27年度 大学コンソーシアム関門

「関門学」公開講座受講者募集

【関門学①】「関門の自然環境とそのエネルギー」

(全15回 九州共立大学提供)

21世紀は人類にとって環境・エネルギー問題が大きなテーマです。身近な関門海峡を取り巻く地域の自然環境と特徴を知り、自然保護やエネルギー利用法を学ぶことで、環境に対する知識を深めることができます。講義全体のキーワードは、自然環境・自然保護・自然エネルギーです。

- ・期間：8月19日(水)～8月25日(火) 10:40～16:10
- ・会場：九州共立大学 深耕館

【関門学②】「下関の地域課題と可能性」

(全15回 下関市立大学提供)

下関地域における諸課題を、「地域産業」「地域教育」「地域資源」「社会経済」「地域社会」という5つの視点から概観する。視点ごとにオムニバス形式で講義し、各回において地域課題の発見、課題へのアプローチ、調査研究手法、課題解決の手法など学びます。講義を通じて、下関地域における今後の発展の可能性について触れる。

- ・期間：9月7日(月)～9月11日(金) 10:40～16:10
- ・会場：下関市立大学

【関門学③】「地域文化遺産の保存・活用」

(全15回 九州国際大学提供)

文化財、近代化遺産あるいは産業遺産などと表されている地域の歴史文化遺産をどのように保存・活用して、まちづくり・地域活性化に役立てていくか。全国と関門地域の事例をとりあげ、①いかに評価するか、価値をどのように見出すか、②保存のあり方(住民運動/保存・修復)、③活用の仕方(公的・民間/商業的利用)、という視点から検証していきます。具体的事例を踏まえて、理論的な整理を展望する。

- ・期間：9月14日(月)～9月18日(金) 10:40～16:10
- ・会場：九州国際大学 地域連携センター

【受講料】

1講座 5,000円

【申込期間】

平成27年7月1日(水)～7月31日(金)

【申込方法】

希望講座名、連絡先(郵便番号、住所、氏名、電話番号)をご記入の上、ハガキにてお申込みください(7月31日消印有効)。

〒802-8577

北九州市小倉南区北方四一丁目2-1

北九州市立大学

学務第一課 「大学コンソーシアム関門」係

【問合せ先】

大学コンソーシアム関門事務局

(北九州市立大学 学務第一課)

TEL 093-964-4106



【関門学①】

科目名	関門の自然環境とそのエネルギー	
担当者名	成富 勝、小島 治幸、宇野 美津夫	
期間	8月19日(水) ~ 8月25日(火) (土・日除く) 1回90分 (2時限~4時限) 10:40~12:10、13:00~14:30、14:40~16:10	
講義会場	九州共立大学 深耕館	
8/19 (水)	1回	関門地域の自然環境と古環境 ~故きを温ねて新しきを知る 【成富勝】
	2回	関門地域の音環境 ~鳥啼いて山更に幽かなり 【成富勝】
	3回	関門地域の多様な生き物と植物 ~人間もイキモノ 【成富勝】
8/20 (木)	4回	関門地域の環境保全 ~真に豊かな、心地よい社会を築こう 【成富勝】
	5回	関門地域の自然災害 ~備えあれば憂いなし 【成富勝】
	6回	関門海峡とその周辺の潮流 ~潮流はどのように起こり、どのくらい速いのだろう 【小島治幸】
8/21 (金)	7回	関門海峡とその周辺の海岸 ~いろいろな海岸とその自然特性 【小島治幸】
	8回	関門海峡とその周辺の干潟海岸 ~貴重な干潟海岸とその自然環境 【小島治幸】
	9回	海に存在する波 ~いろいろな波の中で怖い波は何だろう 【小島治幸】
8/24 (月)	10回	関門地域の自然災害 ~津波から身を守るためには 【小島治幸】
	11回	関門海峡の再生可能エネルギー ~自然エネルギーの種類と善し悪しを考えよう 【宇野美津夫】
	12回	河川エネルギーの利用とその可能性 ~日本の川は流れが速い 【宇野美津夫】
8/25 (火)	13回	風力エネルギーとその効果 ~風は向かい風、追い風 【宇野美津夫】
	14回	海流エネルギーの種類と利用法 ~海に囲まれた日本は有利か 【宇野美津夫】
	15回	世界の海洋エネルギーの動向と関門海峡への応用 ~世界を知って地域を考えよう 【宇野美津夫】

【関門学②】

科目名	下関の地域課題と可能性	
担当者名	リレー式で担当	
期間	9月7日(月) ~ 9月11日(金) 1回90分 (2時限~4時限) 10:40~12:10、13:00~14:30、14:40~16:10	
講義会場	下関市立大学	
9/7 (月)	1回	立地企業の地域的展開と地域資源の活用策 【外护保大介】
	2回	3.11以後のエネルギー転換と地域課題 【山川俊和】
	3回	地域環境政策の担い手と費用負担 【藤谷岳】
9/8 (火)	4回	学校とともにある地域づくり 【天野かおり】
	5回	地域高齢者を元気にする介護予防運動 【小笠原正志】
	6回	地域における英語学習機会と地域住民の役割 【Kristen Sullivan】
9/9 (水)	7回	下関の今昔 【相原信彦】
	8回	明治期の下関と当時の国際化 【西田光一】
	9回	地域資源としての公立大学 【西田雅弘】
9/10 (木)	10回	関門地域の工業化と鈴木商店 【木村健二】
	11回	偉人たちのエッセンス 【川野祐二】
	12回	関門鯨産業文化史と鯨のまちの課題・展望 【岸本充弘】
9/11 (金)	13回	下関市および周辺地域におけるUターン 【吉津直樹】
	14回	過疎・高齢化地域の地域づくり政策の検討 【水谷利亮】
	15回	学際的にみる地域活性化の定義について 【吉弘憲介】

※講義の順番については、担当者の都合により変更が生じる場合があります。
あらかじめ、ご了承ください。

【関門学③】

科目名	地域文化遺産の保存・活用	
担当者名	清水 憲一(九州国際大学 経済学部教授)、市原猛志	
期間	9月14日(月) ~ 9月18日(金) 1回90分 (2時限~4時限) 10:40~12:10、13:00~14:30、14:40~16:10	
講義会場	九州国際大学地域連携センター(コムシティ 2階)	
9/14 (月)	1回	はじめに: 評価、保存、活用の「3つの視点」の意味するところ・重要性について、世界文化遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産」、そして産業考古学会における個人的な体験を踏まえて問題提起をおこなう。 【清水憲一】
	2回	歴史的背景: 近年、地域経済の「疲弊化」が深刻になる中で、国・地域のまちづくり・活性化施策において、歴史文化遺産の活用が目されるようになった要因は? 文化財行政の変貌。対象の拡大・深化/活用の重視 【清水憲一】
	3回	どのようにアプローチされてきたか: テーマに関して、産業考古学、社会学、建築史、土木史などの分野で、どのように検討されてきたか。その経過と現状について整理する。 【清水憲一】
9/15 (火)	4回	全国的概要: 各種施策による全般的概要(世界遺産、指定・登録の文化財、町並み、文化的景観、近代化産業遺産/学会の推薦遺産など) 【清水憲一】
	5回	世界文化遺産による地域活性化: 石見銀山、富岡製糸場 【清水憲一】
	6回	伝建地区によるまちづくり 【市原猛志】
9/16 (水)	7回	鉱山遺跡: 生野、別子、足尾 【清水憲一】
	8回	小樽: 小樽運河の保存運動からまちづくり、近代化遺産の商業的利用 【清水憲一】
	9回	萩: 「屋根のない博物館」による観光まちづくり 【清水憲一】
9/17 (木)	10回	下関の保存と活用: 第一別館、英国領事館など 【市原猛志】
	11回	北九州・門司港レトロ事業 【市原猛志】
	12回	地域の文化遺産を発見する: 近代化遺産の見方・楽しみ、魅力を発見するために、「押さえ処」を知ってお 【市原猛志】
9/18 (金)	13回	博物館・資料館を楽しむ: 田川市石炭・歴史博物館を事例として、歴史遺産の収集・保存・公開=展示のあり方を具体的に考える。また、関門地域では、どこに、なにが保存・所蔵され、展示されているかを確認する。 【清水憲一】
	14回	文化資源マネジメント 【市原猛志】
	15回	まとめ 【清水憲一】

【会場アクセス】

九州共立大学 深耕館

北九州市八幡西区自由ヶ丘 1-8 Tel 093-693-3073
JR 折尾駅よりバス7分、徒歩15分

下関市立大学

山口県下関市大学町 2丁目 1-1 Tel 083-252-0288
JR 下関駅よりバス25分、
山の田または大学町 2丁目バス停下車、徒歩3分
JR 幡生駅より徒歩20分

九州国際大学 地域連携センター

北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 2階
Tel 093-631-2203
JR 黒崎駅より徒歩1分